

Chapter 8

この章で学ぶこと

学習前に習得すべきポイントを理解しておき、
学習後には確実に習得できたかどうかを振り返りましょう。

1 メイン・サブフォームとは何かを説明できる。



2 メインフォームを作成できる。



3 サブフォームを作成できる。



4 メインフォームにサブフォームを組み込んで、メイン・サブフォームを作成できる。



5 指定したフィールドの合計を返すSum関数を使って、
演算テキストボックスを作成できる。



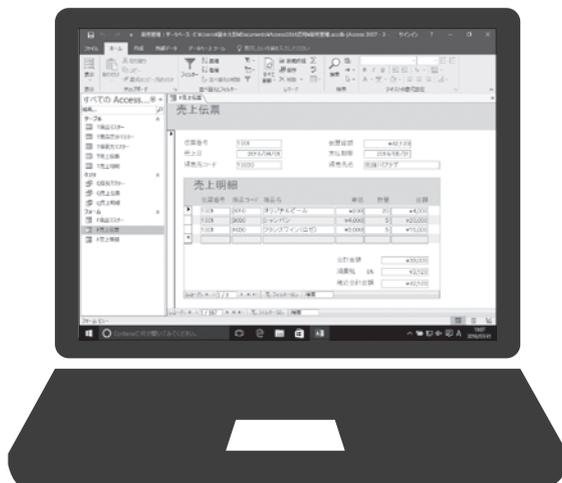
6 指定した日付に、指定した日付の単位の時間間隔を加算した日付を返す
DateAdd関数を使って、演算テキストボックスを作成できる。



7 指定した年、月、日に対応する日付を返すDateSerial関数を使って、
演算テキストボックスを作成できる。



8 異なるフォームのコントロールの値を参照する識別子を使って、
演算テキストボックスを作成できる。



Step 1

作成するフォームを確認する

1 作成するフォームの確認

次のようなフォーム「F売上傳票」を編集しましょう。

●F売上傳票

売上傳票

伝票番号: 1001 伝票総額: ¥42,120
売上日: 2016/04/01 支払期限: 2016/05/31
得意先コード: 10030 得意先名: 北白川プラザ

売上明細					
伝票番号	商品コード	商品名	単価	数量	金額
1001	2010	オリジナルビール	¥200	20	¥4,000
1001	3030	シャンパン	¥4,000	5	¥20,000
1001	4030	フランスワイン(ロゼ)	¥3,000	5	¥15,000
*					

合計金額: ¥39,000
消費税 8%: ¥3,120
税込合計金額: ¥42,120

レコード: 1 / 3 フィルターなし 検索

サブフォームの組み込み

演算テキストボックスの作成

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

総合問題

付録1

付録2

索引

1 メイン・サブフォーム

「メイン・サブフォーム」とは、メインフォームとサブフォームから構成されるフォームのことです。主となるフォームを「メインフォーム」、メインフォームの中に組み込まれるフォームを「サブフォーム」といいます。

メイン・サブフォームは、明細行を組み込んだ売上傳票や会計伝票を作成する場合などに使います。

The screenshot shows a window titled "売上傳票" (Sales Invoice). The main form contains the following fields:

伝票番号	1001	伝票総額	¥42,120
売上日	2016/04/01	支払期限	2016/05/31
得意先コード	10030	得意先名	北白川プラザ

The sub-form, titled "売上明細" (Sales Details), contains a table with the following data:

伝票番号	商品コード	商品名	単価	数量	金額
1001	2010	オリジナルビール	¥200	20	¥4,000
1001	3030	シャンパン	¥4,000	5	¥20,000
1001	4030	フランスワイン(ロゼ)	¥3,000	5	¥15,000
			合計金額		¥39,000
			消費税 8%		¥3,120
			税込合計金額		¥42,120

Red annotations in the image point to the main form area and the sub-form area.

2 メイン・サブフォームの作成手順

メイン・サブフォームの基本的な作成手順は、次のとおりです。

1

メインフォームを作成する

もともになるテーブルとフィールドを確認する。
もともになるクエリを作成する。
フォームを単票形式で作成する。

2

サブフォームを作成する

もともになるテーブルとフィールドを確認する。
もともになるクエリを作成する。
フォームを表形式またはデータシート形式で作成する。

3

メインフォームにサブフォームを組み込む

メインフォームのコントロールのひとつとして、サブフォームを組み込む。



POINT ▶▶▶

メイン・サブフォームと単票形式のフォーム

メイン・サブフォームと単票形式のフォームでは、テーブルの設計方法が異なります。

■メイン・サブフォーム

●テーブルの設計

メインフォームのもとになるテーブル

伝票番号	売上日	得意先コード
1001	2016/04/01	10030
1002	2016/04/01	20010
1003	2016/04/04	10040
1004	2016/04/04	30030
1005	2016/04/04	30020
1006	2016/04/04	10020
1007	2016/04/05	20030
1008	2016/04/05	30050
1009	2016/04/05	20020
1010	2016/04/06	10010
1011	2016/04/06	10050
1012	2016/04/06	20040
1013	2016/04/06	30040
1014	2016/04/06	20050
1015	2016/04/07	30010
1016	2016/04/07	10030
1017	2016/04/07	20010
1018	2016/04/07	10040
1019	2016/04/08	30030
1020	2016/04/08	30020
1021	2016/04/08	10020
1022	2016/04/08	20030
1023	2016/04/11	30050
1024	2016/04/11	20020
1025	2016/04/11	10010
1026	2016/04/11	10050
1027	2016/04/12	20040
1028	2016/04/12	30040
1029	2016/04/12	20050

サブフォームのもとになるテーブル

明細番号	伝票番号	商品コード	数量
11001	2010		20
21001	3030		5
31001	4030		5
41002	1050		25
51002	2030		40
61003	1010		5
71003	3010		10
81004	1030		15
91004	4020		15
101004	1040		10
111004	2020		30
121004	2050		10
131005	1020		9
141005	4050		2
151006	3020		20
161006	2040		40
171006	5010		5
181007	2060		10
191007	4010		5
201008	4040		15
211009	2010		50
221009	3030		10
231010	4030		7
241010	5010		3
251011	2010		30
261011	1010		6
271012	3010		5
281012	1030		5
291013	4020		4

●利点

伝票を書くイメージで入力できる
特定のフィールドを基準に明細を一覧で表示できる

■単票フォーム

●テーブルの設計

もとになるテーブル

明細番号	伝票番号	売上日	得意先コード	商品コード	数量
11001	2016/04/01	10030	2010		20
21001	2016/04/01	10030	3030		5
31001	2016/04/01	10030	4030		5
41002	2016/04/01	20010	1050		25
51002	2016/04/01	20010	2030		40
61003	2016/04/04	10040	1010		5
71003	2016/04/04	10040	3010		10
81004	2016/04/04	30030	1030		15
91004	2016/04/04	30030	4020		15
101004	2016/04/04	30030	1040		10
111004	2016/04/04	30030	2020		30
121004	2016/04/04	30030	2050		10
131005	2016/04/04	30020	1020		9
141005	2016/04/04	30020	4050		2
151006	2016/04/04	10020	3020		20
161006	2016/04/04	10020	2040		40
171006	2016/04/04	10020	5010		5
181007	2016/04/05	20030	2060		10
191007	2016/04/05	20030	4010		5
201008	2016/04/05	30050	4040		15
211009	2016/04/05	20020	2010		50
221009	2016/04/05	20020	3030		10
231010	2016/04/06	10010	4030		7
241010	2016/04/06	10010	5010		3
251011	2016/04/06	10050	2010		30
261011	2016/04/06	10050	1010		6
271012	2016/04/06	20040	3010		5
281012	2016/04/06	20040	1030		5
291013	2016/04/06	30040	4020		4

●利点

1件1画面のため、テーブルの設計が容易である

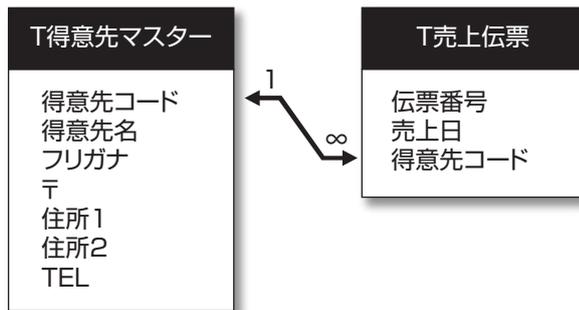
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 総合問題
- 付録1
- 付録2
- 索引

3 メインフォームの作成

次のようなメインフォーム「F売上傳票」を作成しましょう。

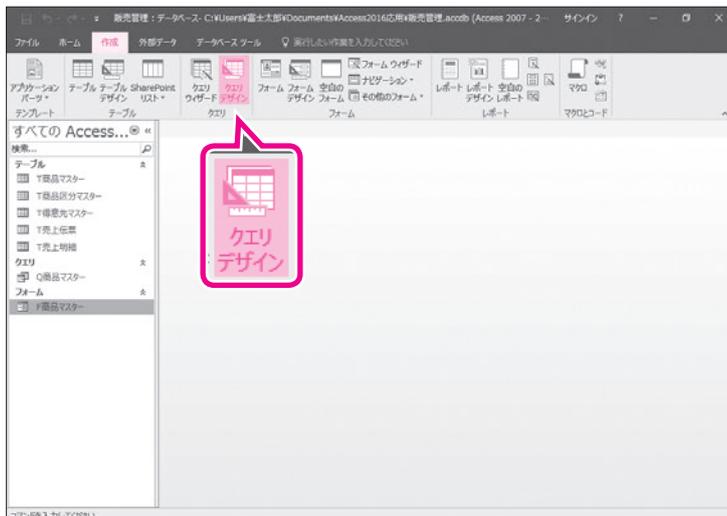
1 もとになるテーブルとフィールドの確認

メインフォームは、テーブル「T売上傳票」をもとに、必要なフィールドをテーブル「T得意先マスター」から選択して作成します。

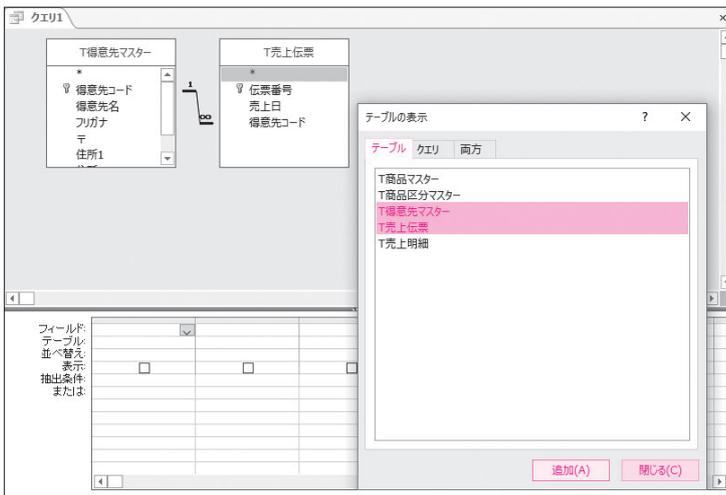


2 もとになるクエリの作成

メインフォームのもとなるクエリ「Q売上傳票」を作成しましょう。

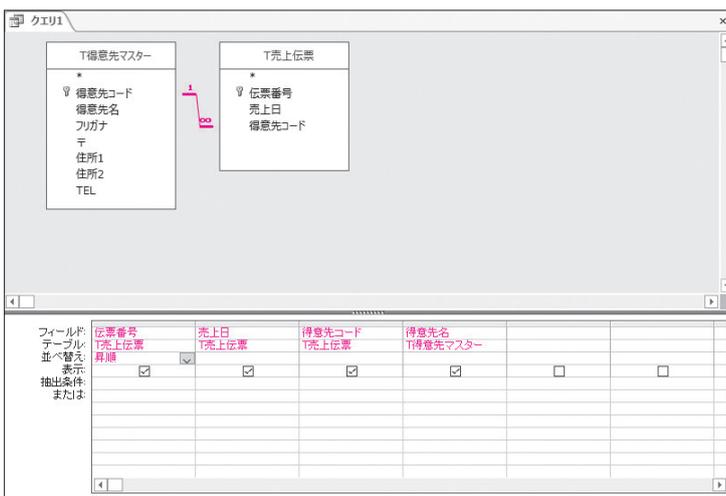


- ①《作成》タブを選択します。
- ②《クエリ》グループの  (クエリデザイン) をクリックします。



クエリウィンドウと《テーブルの表示》ダイアログボックスが表示されます。

- ③《テーブル》タブを選択します。
- ④一覧から「T得意先マスター」を選択します。
- ⑤ **[Shift]** を押しながら、「T売上伝票」を選択します。
- ⑥《追加》をクリックします。
《テーブルの表示》ダイアログボックスを閉じます。
- ⑦《閉じる》をクリックします。



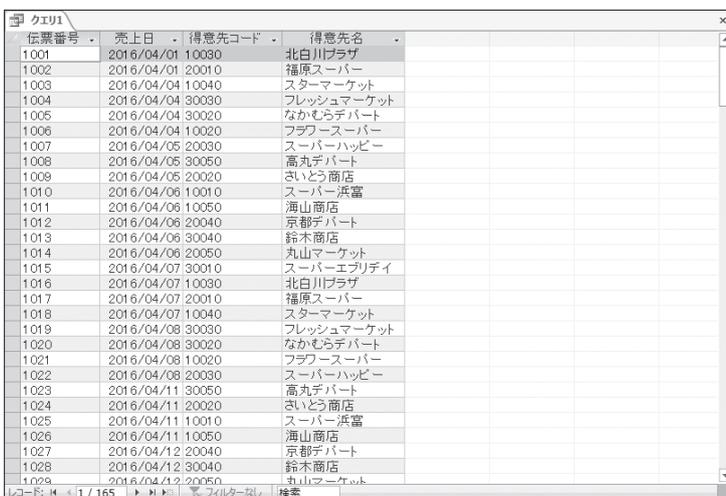
クエリウィンドウに2つのテーブルのフィールドリストが表示されます。

- ⑧ テーブル間にリレーションシップの結合線が表示されていることを確認します。
※図のように、フィールドリストのサイズを調整しておきましょう。
- ⑨ 次の順番でフィールドをデザイングリッドに登録します。

テーブル	フィールド
T売上伝票	伝票番号
〃	売上日
〃	得意先コード
T得意先マスター	得意先名

- ⑩「伝票番号」フィールドの《並べ替え》セルを《昇順》に設定します。

データシートビューに切り替えて、結果を確認します。



- ⑪《デザイン》タブを選択します。
- ⑫《結果》グループの  (表示) をクリックします。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
総合問題
付録1
付録2
索引